

茗溪



秋

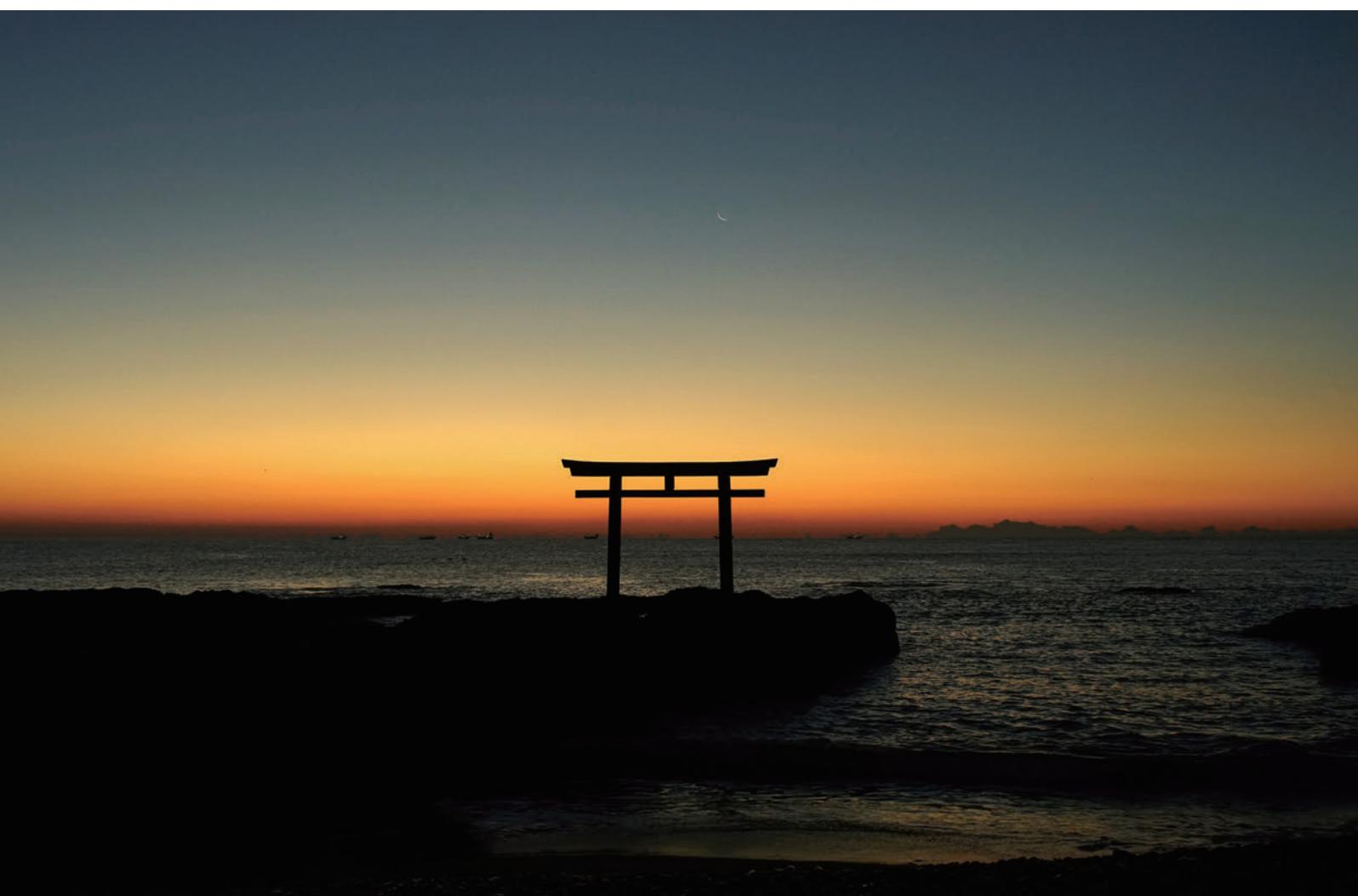
2024

令和6年

no.1122

目次

- グラビア …… 01 ~ 02
- 令和6年度茗溪会地域組織表 …… 03
- 筑波キャンパスでのキャリア支援レポート '24 …… 04 ~ 06
- 令和7年度定時給会案内 …… 07
- 茗溪会学生活動支援事業について …… 08 ~ 09
- Peer Garden (茗溪アルバム) …… 10 ~ 11
- 持続可能な社会の作り手の育成を目指して …… 12 ~ 13
- 寺子屋日々喜の紹介 …… 14 ~ 15
- 茗溪・筑波産業人倶楽部Ⅱのお知らせ …… 16
- 元素講話こぼれ話 第6話 …… 17
- 著書紹介 …… 18 ~ 19
- 桐の葉のつどい …… 19
- 茗溪・東西南北 …… 20
- 茗溪フェロー協力者ご芳名 …… 21
- 追悼録 …… 22
- 筑波大学は今 …… 23
- 茗溪学園だより …… 24 ■ 予告 …… 25
- 広報 …… 26 ■ 表紙のことば …… 26 ■ 編集後記 …… 26





安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 一也

☆GOアプリ配車
☆貸切バス事業者より
安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑 3 丁目 19-4

TEL 029-864-0301
FAX 029-864-4727
メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302
各営業所に通じます



地域と歩み、次代を創る。

SEKISHO
SEKISHO GROUP

当社は「財団法人関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹

つくば本社 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151
若溪会担当：専務取締役 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群社会学類卒業)

<https://www.sekisho.co.jp/>

KAIT

力と自信がつく教育で
「考え、行動する人材」を育成します。



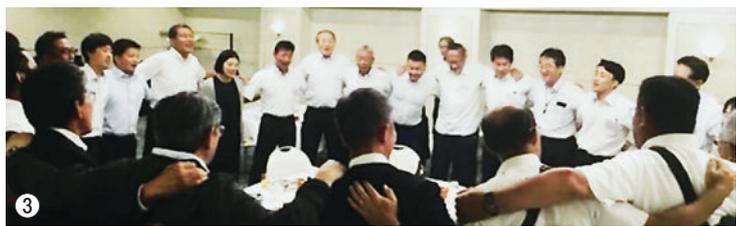
- 工学部
 - 機械工学科 機械工学コース
 - 機械工学科 航空宇宙学コース
 - 電気電子情報工学科
 - 応用化学科
- 創造工学部
 - 自動車システム開発工学科
 - ロボット・メカトロニクス学科
 - ホームエレクトロニクス開発学科
- 応用バイオ科学部
 - 応用バイオ科学科 応用バイオコース
 - 応用バイオ科学科 生命科学コース
- 情報学部
 - 情報工学科
 - 情報ネットワーク・コミュニケーション学科
 - 情報メディア学科
- 健康医療科学部
 - 看護学科(看護師・保健師養成課程)
 - 管理栄養学科(管理栄養士養成課程)
 - 臨床工学科(臨床工学技士養成課程)

教職センター 大畑多津雄 (S52 理) (神奈川茗溪会会 長)
I R 室 望月 正大 (S51 理) (同 副会長)
公務員対策室 林 忠 (S58第1自)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:<https://www.kait.jp/>



①恒例の大石事務局長のリードによる宣揚歌(神奈川茗溪会 7/20)
②宣揚歌(長野県支部 6/23) ③宣揚歌(愛知支部 7/7)



④東勇介(S32 教大林)による乾杯の音頭(熊本支部 6/22) ⑤乾杯を終えて歓談へ(愛知支部 7/7) ⑥万歳三唱(富山支部 7/6) ⑦海津ゆきえ(R6 筑大体)による万歳三唱(熊本支部 6/22) ⑧若い参加者と懇談する中村支部長(富山支部 7/6) ⑨昼下がりの横浜繁華街にて二次会、右席の奥に井口理事長の姿が見える(神奈川茗溪会 7/20)



茗溪150年記念誌

— 伝承と創造 —

刊行 2024年3月、茗溪創基150年記念誌編集委員会
 構成 B5版上製本、589頁（横書き、2段）、図版等を多用
 有料頒布 価格 8,000円
 無料頒布 高額（3万円以上）寄付者、寄付団体に進呈します
 発行部数 500部（残り80冊程度）
 内容 茗溪会をめぐる時代状況と、150年の茗溪の息吹をお届けします

目次概略

- 序章 伝承と創造
- 第1章 茗溪会Ⅰ期（1882～1931）
- 第2章 茗溪会Ⅱ期（1932～1982）
- 第3章 茗溪会Ⅲ期（1983～2022）
- 第4章 茗溪会と社会
- 第5章 地域組織等（支部）の歩み

申込先 茗溪会事務局（☒ peer@meikei.or.jp）
 お問い合わせは ☎ 03-3941-0136



特集 茗溪会 150年 さらなる発展を
 目指す

目次

- 令和3年度茗溪会賞受賞者・活動内容 …… 03
- 茗溪会総会開催必読 …… 04
- 令和4～5年度総会概要 …… 04
- 茗溪創基150年記念式典と定例会議の開催について …… 05
- 地域組織の発展と会員会費 …… 06
- 追悼のつどい開催報告 …… 07～08
- 追悼 河本武臣 …… 09～11
- Peer Garden（交流広場） …… 12～13
- 製薬関係の組織化に向けて …… 14～15
- 誌上講座（進化する糖質ゲートシリコン酸化膜を目指して） …… 16～17
- 茗溪創基150年寄付者ご芳名 …… 18～19
- 茗溪創基150年記念誌・記念品・寄付斡旋のこと …… 19
- 著書紹介 …… 20
- 筑波大学は今 …… 21
- 茗溪フェロー協力者ご芳名 …… 22
- 茗溪学園だより …… 23
- 追悼録 …… 24
- 著書紹介 …… 24
- 広報 …… 25
- 編集後記 …… 25
- 予告 …… 26

一般社団法人茗溪会

茗溪

春
2022
令和4年
no.1112

「記念誌の装丁や題字は誰の手によるものか」という問い合わせがありましたので、改めてご紹介させていただきます。記念誌の装丁と題字は、二人の筑波大学名誉教授の手によるものです。以下に紹介させていただきます。

装丁 西川 潔 筑波大学名誉教授、デザイン学会理事

1969年 東京教育大学教育学部芸術学科卒業
 1971年 同大学院教育学研究科修了
 1995年 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
 2009～2011年 筑波大学副学長
 2012～2018年 茗溪会副理事長
 日本デザイン学会理事、基礎デザイン学会理事を歴任

▶長年、季刊誌『茗溪』表紙デザインを担当され、1077号（2013年春号）までの構成は、「茗溪会及び大学のシンボルカラーである紫と、桐文様並びに茗溪に因む水を和のテイストで構成したもの」でした。



▶茗溪会新体制の刷新にあわせて、「イメージを全会員、関係者に伝えるために、まず刷色を4色のカラーに変え、かつ毎号表紙の写真を変えたいと思います。具体的な情報を届ける重要なスペースとして、写真部分を活用すべきと考えました。各地の活動を端的に示すものや、偉大な会員の肖像シリーズ、学生の活躍スナップなどアイディアは尽きません。読者や学生も参加できる季刊誌になれば」（2013年春1077号）という願いを込めた表紙の基本コンセプトは、現在に継承されています。



▶また、季刊誌『茗溪』（2013年夏1078号）以降の表紙を飾る茗溪創基150年記念のシンボルマークもデザインされました。

題字 中村伸夫、筑波大学名誉教授、日展会員

1978年 東京教育大学教育学部芸術学科卒業
 1979～1981年 中国政府奨学金留学生として北京に留学
 1982年 筑波大学大学院芸術研究科修了
 2006年 筑波大学大学院人間総合科学研究科教授
 日本書芸院常任理事、書学書道史学会理事長を歴任

▶茗溪創基150年記念品である扇子の書は、中村教授が揮毫されました。



書を手にする江田前理事長と中村教授



▶季刊誌『茗溪』（正月1111号）の表紙を飾り、同号で、「扇子の書について」と、以下の解説が添えられています。
 ▶「嘉納治五郎先生の名言「自他共栄」の四字を、繁栄を象徴する末広りの扇面に揮毫した作品です。嘉納先生は中国古代の思想書を愛読されましたが、そのことに因み、紀元前の古代文字を素材としました。特にこの作品は、秦の始皇帝が天下を統一する以前の戦国時代に、南方の強国「楚」で行われていた竹簡の文字を応用したものです。記念品としてのこの扇子が、実用にも供されるよう、清楚で涼やかな表現となるよう筆を運びました」と、記されています。

令和6年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
筑波大	伊藤純郎 (50筑一人文)	野崎芳恵 (12築二日)
名誉教授の会	大嶋建一	新井達郎 (56筑博化)
北海道	川口淳 (58筑修教)	尾形友秀 (05筑体) 吉田健作 (16筑体)
青森	工藤清彦 (61筑体)	工藤誠司 (09筑体) 五十嵐喜代敬 (09筑体)
岩手	高橋緑 (60筑二人間)	清水茂幸 (59筑体) 上濱龍也 (62筑体) 澤村省逸 (62筑体)
宮城	土生善弘 (62筑体)	山崎健二 (02筑体)
秋田	筒井勝 (62筑体)	田口良実 (59筑二農)
山形	石山宣浩 (62筑二比)	武田宏典 (09筑体) 高橋尚 (24筑体) 白田亜弓 (17筑体)
福島	佐藤弘樹 (61筑体)	渡邊優輔 (21筑修教) 大槻文彦 (12筑修理) 伊藤淳一 (09筑修教)
茨城	海老澤浩一 (63筑一人文)	花沢典行 (20筑二人間) 坏雄太 (11筑一自)
栃木	前橋均 (62筑二比)	今井和彦 (06筑一自) 飯村裕樹 (24筑修教)
群馬	丸橋覚 (02筑修教) 今井貴子 (63筑体) 田島正徳 (63筑体)	櫻澤正明 (01筑一自) 福島興征 (17筑一自) 川野泰和 (23筑数)
埼玉	春山賢男 (55筑一自)	青木勇藤 (55筑一人文) 大川勝 (59筑体) 山本健敬 (59筑一自)
千葉	百瀬明宏 (55筑一人文)	大久保利宏 (52教大健) 峯浩之 (14筑一自) 田口亜紀子 (08筑一自)
東京	高橋基之 (53筑一自) 柳久美子 (50教大体) 眞當哲博 (57筑二人間)	浅井一郎 (55第一人文) 栗原茂夫 (55筑二比) 飯島睦子 (54筑二人間) 渡部睦人 (53筑一自) 眞當哲博 (09筑修教) 藤田宗男 (56筑一社会)
神奈川	加藤充洋 (56筑一社会)	大石進 (56筑体) 添野龍雄 (57筑二農) 鈴木孝幸 (09筑博工)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
山梨	野崎哲司 (62筑二人間)	京ヶ島みどり (62筑一人文) 中川貴博 (61筑一自) 小宮山隆 (12筑博歴)
長野	石川裕之 (61筑一人文)	卯之原勇輝 (22筑体) 新宮奈々 (28筑日日) 速渡賀大 (27筑人文)
新潟	中島郁雄 (53筑体)	鹿俣讓 (05筑一自) 佐藤俊 (13筑修教)
富山	辻本努 (01筑一人文)	橋和徳 (23筑修体) 安村良紀 (18筑三工基) 箱江典子 (23筑博数)
石川	居村吉記 (01筑体)	神田康 (15筑体) 横野祐太郎 (26筑体) 近岡岳則 (17筑二人間)
福井	熊野善明 (01筑体)	市岡勇一 (01筑体) 上野早苗 (05筑二日)
静岡	石川徹 (63筑一人文)	鈴木康之 (02筑修教) 掛下裕史 (03筑一人文)
愛知	竹下裕隆 (56筑一社)	丹後茂 (63筑体) 大森北寛 (09筑修体) 折笠安秀 (08筑体)
岐阜	増田智至 (63筑二農)	蒲尚胤 (02筑一人文) 水野裕子 (01筑二人間) 高田剛 (10筑二資源)
三重	岡村芳成 (63筑一自)	佐野真也 (15筑三工シ) 加藤英紀 (15筑一自) 岡武志 (09筑二生)
滋賀	脇坂高峰 (56筑体)	長瀬慎吾 (20筑体) 桂本尚樹 (62筑体) 藤江隆史 (08筑体)
京都	三橋利彦 (58筑体)	遠山秀史 (61筑一自) 藤原秀規 (04筑体) 大槻寛史 (03筑体) 藤野貴之 (06筑体) 柳俊二郎 (13筑体) 奥村典夫 (61筑修教) 三浦敏史 (24筑体)
大阪	戸井田克己 (59筑二比)	北邨淳 (19筑体)
兵庫	岸部健司 (63筑体)	新井友彦 (01筑体) 長井浩一 (05筑体)
奈良	谷垣康 (53筑一人文) 松田勝雅 (54筑体) 藤岡明 (50教大教)	井上徳之 (53筑一自) 岩佐泰造 (13筑体) 栗本善弘 (10筑体)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
和歌山	森文哉 (63筑体)	古家雅之 (12筑体) 玉出慎 (12筑体)
鳥取	小倉健一 (53筑体)	美多賀鼻孝裕 (10筑体) 加藤淳一 (24筑体) 出雲大輔 (24筑体)
島根	境英俊 (59筑修体)	西村覚 (01筑修体) 塚田真也 (21筑博数) 王傲寒 (29筑博数)
岡山	長尾隆史 (55筑体)	延原良明 (57筑体)
広島	大辻明 (47教大体)	若井研治 (09筑体) 山下勝也 (58筑体)
山口	開地元典 (59筑二生)	藤本秀夫 (15筑修体) 原田正太郎 (27筑体)
徳島	藤川美和 (63筑一人文)	竹本佐知子 (09筑体) 北條伸吾 (62筑一人文) 藤川健司 (21筑博体)
香川	土井真也 (63筑体)	飯尾美保 (04筑芸) 迫田真由美 (05筑二日)
愛媛	川野光正 (02筑体)	辻岡英幸 (03筑体) 梶原健作 (21筑体) 友近拓也 (13筑体)
高知	楠瀬誠悟 (63筑修教)	手林慎一 (10筑博農) 山本英作 (03筑二比) 下坂速人 (53筑体)
福岡	中神智文 (11筑修教)	片山英和 (10筑体)
佐賀	松雪誉 (61筑体)	松本真知 (14筑二資源)
長崎	岩橋英夫 (63筑体)	井手英介 (15筑体) 大水征史 (17筑体)
熊本	田畑淳一 (62筑二農)	河崎剛 (05筑体) 吉村香織 (05筑体) 橋本徹也 (12筑体)
大分	加藤寛章 (62筑体)	押田武 (11筑体)
宮崎	児玉洋一 (02筑三社工)	川内健二 (16筑二比) 森山あゆみ (20筑二資源)
鹿児島	黒木哲二 (62筑二比)	前和樹 (11筑一人文)
沖縄	前門晃 (58筑博理)	三輪一義 (02筑修体) 古堅小百合 (12筑修理) 漢那洋子 (63筑一自)

筑波キャンパスでの キャリア支援レポート'24

筑波事務所 瀧下 芳彦
(S56基礎工卒)

キャリアコンサルタント／産業カウンセラー

筑波事務所は、筑波キャンパスの中央部にある学生会館内にあり、学生と一番近いところで活動しています。茗溪会が実施しているキャリア支援活動のうち、現在、筑波キャンパスを中心に継続的に開催しているものは以下の5つです。

- ①OB・OGキャリアアカフェ(年2回)
- ②就活、キャリアについてのぶつちやけ質問会・相談会(月1回)
- ③OB・OG訪問(常時予約受付)
- ④個別キャリア相談(常時予約受付)
- ⑤対面面接練習(常時予約受付)

このうち今回は6月に学生会館内にて実施された「第11回OB・OGキャリアアカフェ」についての現場レポートをいたします。

第11回OB・OG

キャリアアカフェ

2024年6月7日(金)開催

●企画概要

筑波大学および大学院の卒業生と現役学生との交流の機会、および大学の先輩から就職活動やキャリア、学生生活

活のアドバイスなど、本音で話を聞ける機会として、これまで学生から高い満足度を得ています。

主催…一般社団法人 茗溪会 茗溪・筑波産業人倶楽部運営委員会
共催…筑波大学 ヒューマンエンパワメント推進局(BHE)／旧就職課)

参加対象学生…筑波大学の全学生、大学院生(学年は不問)
参加対象社会人…筑波大学および大学の卒業生

これまでの開催履歴

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
開催年	2019	2020	2021	2022	2023	2024					
開催月	6	10	7	12	7	12	7	12	6	10	6
開催日数	1	1	4	4	4	2	2	2	2	1	1
対面	●	●							●		●
オンライン			●	●	●	●	●	●	●	●	

↑今回
↓新型コロナウイルス感染症防止に伴う行動規制期間

●今回、特に私たちが注力したこと

・2000年から始まった新型コロナウイルス感染症拡大に伴う感染対策も昨年より緩和され、今年度はほぼ規制がなくなり、受け、共催先であるBHEと協議をし、今回は、コロナ禍以前の完全対面方式に戻して実

施することになりました。

・昨年の対面開催(第9回)時には、密になることを避ける目的で広い会場でお互いの距離を確保していましたが、今回は会場(学生会館特別会議室)から机を取り除き、グループ毎に円状に6脚の椅子を並べて膝を突き合わせて話をするスタイルとし、気軽にかつ親密に先輩と話ができる雰囲気づくりをしました。

・平日の日中開催で、授業と重なる学生も多いと思われることから「途中参加・途中退出可能」とし、1セッション30分の合計4セッション構成でいつからでも話に参加できるようにしました。また、従来通り、グループ毎に2名の卒業生をペアとして、短い時間に行うにしました。ここで、ペアを決めるにあたっては、できるだけ異なる業界、職種を組み合わせとなるようにして、学生たちに多くの働き方や考え方があつたことを知ってもらう機会になるように心がけました。

・これまでの開催毎に実施してきた卒業生からのアンケートの中で、「学生との交流だけではなく、卒業生同士や筑波大学の教職員の方との交流もできる時間があるとよい」という意見を受けて、今回初めてランチ交流会と懇親会を前後に加えた3部構成とし、学生会館内でそれぞれ場所を変えて、交流の機会を増やしました。

●今回の結果

・卒業生25名と参加実学生60名(延べ学生154名)が交流しました。また、一人の

イベント構成

部	内容	開催時間	目的(交流対象)	開催場所
1	ランチ交流会	12:30~13:30	卒業生同士	筑波デミ
2	キャリアアカフェ	13:45~16:00		特別会議室
	セッション1	14:00~14:30	卒業生と学生(1)	
	セッション2	14:30~15:00	卒業生と学生(2)	
	セッション3	15:00~15:30	卒業生と学生(3)	
3	セッション4	15:30~16:00	卒業生と学生(4)	第3会議室
	懇親会	16:15~17:15	卒業生と大学と学生	

学生が話を聞いた卒業生は、平均5.1名でした。最大で8名の卒業生と交流したという積極的な学生もいました。

OB・OGキャリアアカフェの開催目的である「様々な仕事や働き方を知る機会を作る」という幅広い交流が実現されました。

・グループ毎に6脚の椅子(このうち2脚は卒業生用)を用意していたことから、参加学生数はグループ毎に数名(平均3名、最大でも5名)に分散することができ、交流がより濃密に実施できました。

・学生の参加者満足度は、100%、卒業生の参加者満足度は、95.7%となり、これまで同様に学生、卒業生共に高い満足度を得ることができました。

参加募集用ポスター

第11回 【対面開催】
OB・OGキャリアカフェ
 いろんなセンパイと気軽に話をしてみよう！

筑波大生
 学年不問！
 ・学群生
 ・大学院生
 〔修士
 博士〕

**OB・OG
 (25名)**
 ・企業
 ・公務員
 ・外国人留学生
 ・フリーランス
 LINEヤフー
 NTTデータ
 TBSアクト
 リクルート
 茨城県庁
 京セラ
 ANA …他

開催日時：
6/7 (金) 13:45～16:00 @大学会館
 (途中参加・退出OK)

〈事前予約要〉
登壇者公開&予約受付中
 申込締切：6/6 (水) 13時まで

主催：一般社団法人 茗溪会 (筑波大学同窓会)
 共催：筑波大学 ヒューマンエンバワメント推進局



参加予定のOB・OG (25名) の所属先一覧
 6月7日 (金) 対面 13時45分～16時 @大学会館 特別会議室

1. 株式会社エル・ティー・エス(コンサルティング)
2. 株式会社電通デジタル(デジタルマーケティング)
3. 稲畑産業株式会社(商社)
4. いであ株式会社(環境コンサルタント)
5. 川崎汽船株式会社(海運)
6. 株式会社NTTデータ(システム開発)
7. 富山県庁知事政策局女性活躍推進課他
(地方自治体、土木建設、介護)
8. 株式会社Polyuse(建設)
9. SMK株式会社(電子部品)
10. 株式会社ナイルワークス(IT)
- ≡ 【業務都合により取り止め】
12. AP Molle Maersk(海運)
13. 株式会社エヌ・エフ・ラボラトリーズ(IT)
14. LINEヤフー株式会社(IT)
15. 茗溪コンサルタンツ株式会社(コンサルティング・不動産)
16. オリエンタルモーター株式会社(モーター)
17. 株式会社モリタホールディングス (輸送用機器)
18. フリーランス (大学・企業 キャリアコンサルティング)
19. 京セラ株式会社(電子部品・電気機器)
20. TBSアクト(放送)
21. 茨城県庁(官公庁)
22. 茨城県警察(官公庁)
23. 国立大学法人京都工芸繊維大学(大学)
24. リクルート(人材・SaaS)
25. 全日本空輸株式会社 (ANA) (航空)
26. 株式会社ジョイフル本田 (小売)

★案内/相談コーナー
も併設

就活・進路等
何でも気軽に
質問・相談
できます！



キャリアカフェの様子



ランチ交流会の様子



懇親会の様子

セッション毎の参加学生数

グループ	1回目	2回目	3回目	4回目	合計	平均
G1	5	5	3	3	16	4.0
G2	4	4	4	2	14	3.5
G3	3	5	3	3	14	3.5
G4	4	2	4	4	14	3.5
G5	2	4	3	4	13	3.3
G6	3	3	4	3	13	3.3
G7	4	3	3	3	13	3.3
G8	4	3	2	3	12	3.0
G9	4	4	0	3	11	2.8
G10	3	0	4	3	10	2.5
G11	3	1	4	2	10	2.5
G12	2	4	0	2	8	2.0
G13	2	3	0	1	6	1.5
合計	43	41	34	36	154	38.5
平均	3.3	3.2	2.6	2.8	11.8	3.0

学生の感想

- キャリア形成、就活の経験や心構え、取り組む意識など、直接でないと聞くことができない話が多く、今後の活動方針が明確になった。
- ポジティブな雰囲気です話すことができ
- 会社説明会では得られない情報を得られた。
- 自分の就活の方向性を固めることができました。
- 固くない感じで話せたのが良かった。
- なんでも質問出来て良かった。
- 社会人の方のリアルな意見を聞くことができ、知りたいことを気兼ねなく質問できた。

卒業生の感想

- OBOGなので砕けた雰囲気でのいろいろな細かなところまで質問できた。進路について考えるいい機会になった。
- 先輩方の話を聞くことができ、就活に対するモチベーションが上がった。敷居が下がってもっと色々なイベントに参加し、色々な方に話を聞いてみたいと思った。
- 様々な業界、職種の方のお話を聞くことができ、非常に参考になった。新たな業界への興味が湧いた。
- 社会人経験を踏まえた、学生生活の過ごし方やアドバイスをもらえた。最後に行われた懇親会でも多くのOBOGと話ができよかった。
- 久しぶりのつくば訪問でいい機会になった。
- 少しでも、学生にとってキャリアを考えるきっかけになったのであれば光栄であり、今後も参加したいと思った。
- 学生だけではなく、横のつながりも作れたことがとても良かった。
- 学生が色々な社会人と気さくに話ができる貴重な会だと感じた。自身も諸先輩、後輩と繋がりもでき有意義な会であった。
- OBOG参加者全員とは会話できなかったのが残念だった。
- 普段出会うことのない文系の学生さんなど、環境分野に興味を持つ幅広い学生さんと話ができ良かった。ペアとなった組み合わせが良く、その立場の違い等を対比しながら学生さんに説明することができた。
- 二人でお話できたのは私にとっても勉強になった。

学生向けキャリア支援活動の協力お願い

常時募集中

今後も学生の近いところで、状況に応じた各種の支援活動を継続して実施していきたいと思えます。

そのためには、卒業生の皆さんのご協力が必要です。

茗溪会では、以下の4つのイベントにご協力していただける卒業生を常時募集しております。

- ① OBOGキャリアカフェ(年2回)
- ② 就活、キャリアについてのぶっちゃけ質問会・相談会(月1回)
- ③ OBOG訪問(常時予約受付)
- ④ 社会人向け、学生向け 個別キャリア相談(常時予約受付)

- 1つでも4つ全てでも構いません。
- いずれについても開催準備時に、ご本人にご参加意思の有無、その時期のご都合をお聞きいたしますので、無理のない範囲でのご協力が可能です。
- 企業、公務員、教員、フリーランスなど職業・職種等は問いません。
- 各活動については茗溪会ホームページ(https://www.meikei.or.jp)をご覧ください。

ぜひ、皆さんもこの機会にお仲間に加わりませんか？

申し込み先

<https://forms.gle/Xuk88WfA7CJnHZbF7>



お問い合わせ先：
 一般社団法人 茗溪会 キャリア支援事務局
 mail: career@meikei.or.jp
 tel: 029-850-1044
 (開所日: 火、木、金 10~16時)

第14回 定時総会

日 時：令和7年6月21日(土) 13:00~17:00
会 場：茗溪会館(2F受付) 文京区大塚1-5-23
交 通：地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅から徒歩3分(220m)
有楽町線 護国寺駅から徒歩9分(710m)
都バス 02系統 窪町小学校バス停から徒歩1分



茗荷谷駅方面から見た茗溪会館

第14回定時総会当日の日程は、以下の内容を予定しております。
定時総会、並びに、情報交換会につきましては、万障お繰り合わせの上、ご参集ください。
なお、定時総会及び情報交換会に続いて懇親会(参加費無料)がございます。
13時から17時までの長い日程ですが、ご予約いただけますよう、よろしくお願いいたします。

第14回定時総会並びに情報交換会・懇親会の時程(案)

I 定時総会／会 場：2階「茗溪の間」

参加者：代議員及び代理人

- 13:00 開 会
13:15 議 事
13:15 (1) 議 案
第1号議案 令和6年度事業報告、決算書類及び監査報告の承認について
第2号議案 令和7年度 事業計画(案)及び 予算(案)について
その他
13:30 (2) 報 告
・茗溪創基150年記念事業について
・地域組織活動等の活性化について
・その他
13:45 閉 会

II 情報交換会／会 場：2階「茗溪の間」

参加者：上記参加者、並びに、地域組織の役員、または、新役員候補者等

- 14:00 情報交換会の目的と内容の説明
14:15 情報交換会
15:30 閉 会

III 懇 親 会／会 場：2階「茗溪の間」

参加者：上記(I・II)参加者、本部役員等

- 15:30 理事長挨拶
15:35 乾 杯
16:50 宣揚歌
17:00 閉会の挨拶(中メ)

*茗溪会館1階はレストランです。総会前のランチにいかがですか？

嘉ノ雅 茗溪館(カノビ メイケイカン) 茗溪会員は10%割引

☎050-3373-3525(予約) 込み合いますので予約をお勧めします。



学生活動支援事業

茗溪会では、筑波大学への支援の一つとして、学生活動支援事業を行っています。

学生活動支援事業は、筑波大学の学生の団体又は個人が課外活動として取り組んでいるイベント等の企画に対して、計画段階で選考し助成金を交付するものです。

今年度は、申請のあった28件について、茗溪会から阿江副理事長、新井理事、佐藤理事、矢野副理事長・事務局長、筑波大学からは本間副学長、中澤学生部長が選考委員として選考を行い、申請どおり全件が採択されました(表参照)。

これを受け、7月2日、筑波大学総合交流会館にて目録贈呈式が行われ、井口理事長から本間副学長へ目録が贈呈されました。その後、採択された団体、個人への助成金決定通知書交付式が行われ、学生を代表して学び場さくら塾から、今後も支援をお願いしたいとの挨拶がありました。



総合交流会館で行われた令和6年度学生活動支援事業目録贈呈式及び決定通知書交付式

●申請数の増加

2020年から2022年までの3年間は、筑波大学のコロナウイルス感染症防止対策である「課外活動における団体活動開始ガイドライン」等を受け、学生活動支援事業を行っていませんでしたが、2023年、筑波大学の課外活動の制限緩和を受け、事業を再開しました。この年の申請件数は14件でしたが、再開して2年目となる今年度はその2倍となる28件の申請がありました。



前列左2人目から、中澤学生部長、本間副学長、井口理事長、阿江副理事長、新井理事(大学・つくば地域支援委員会委員長)

●支援を求める学生たち

申請してきた学生からは「どこか支援してくれるところがないか調べていて、過去の会計資料から茗溪会学生活動支援事業を知った」「支援してくれるところを探していて、自分が入学する前から活動に関わっている春日地域のかたから茗溪会学生活動支援事業を

教わった」等、積極的に支援を探している様子が多くみられました。



日本マラウイ学生団体(2023年撮影)

新規で申請をする団体では、事前に筑波事務所に相談に訪れる学生が多く、何度も相談を重ね、申請書の提出を行う団体もありました。今年初めて申請をした団体の大学院生からは「これまで活動の資金を確保するのが難しく、思うように活動できないことがあった。自分が学群生の頃にこの支援を知りたかった」との声が聞かれました。



筑波大学つくば鳥人間の会(2023年撮影)

●記念行事・記念事業への支援

今年度は、筑波大学開学50周年記念事業の「日韓青少年対話型交流事業」の申請や、筑波大学混声合唱団50周年記念演奏会における委嘱曲初演に関する申請など、メモリアルな企画がみられました。混声合唱団の学生は、「50周年記念演奏会を機に、OB、OGと一緒に会場の予約に行ったり練習したり、交流ができてうれしい」と話していました。



つくばろぼっとサークル(2023年撮影)

●多彩な申請団体・個人

今年度は、「学び場さくら塾」「つくばろぼっとサークル」などコロナ禍前から続けて申請している団体のほか、「留学促進プロジェクト部隊」「学生模倣会社設立支援のための調査団体」など新しく活動を始めた団体や「つくば市まちづくり学生団体がさぐるま」「インドワークキャンプ団体namaste!」などこれまで優れた活動を続けていた団体から新規の申請があり、また、「筑波大学体育会硬式庭球部」「将棋部」などは数年ぶりの申請となるなど、申請団体の顔ぶれもバラエティに富んだものとなりました。

(茗溪会筑波事務所長 野崎芳恵)

令和6年度 茗溪会学生生活動支援事業採択団体・個人

番号	団体名	活動名	支援額
1	留学促進プロジェクト部隊	国立台湾大学への留学促進	56,000
2	つくばリサイタルシリーズ実行委員会	第15回つくばリサイタルシリーズ	84,000
3	学び場さくら塾	学び場さくら塾	22,000
4	将棋部	第8回つくば小中学生将棋大会	30,000
5	TMP(つくばミュージックプロジェクト)	学園祭ライブ presented by TMP	60,000
6	TSUKUBA Girls' Rugby	筑波大学に在籍する女子ラグビー選手の活動	70,000
7	学生模擬会社設立支援のための調査団体	学生の模擬会社設立支援のための調査	66,000
8	ミュージカル集団 ESSASSA	ミュージカルの公演	60,000
9	HSCaT	筑波大学学生宿舎周辺に生息する猫の養育・管理	70,000
10	インドワークキャンプ団体 namaste!	インドハンセン病コロニーの“家屋建て替えプロジェクト”	86,000
11	筑波大学学園祭実行委員会	筑波大学の学園祭である雙峰祭を実施する	100,000
12	つくば市まちづくり学生団体かざぐるま	学生主体による地域の中での多様な人々が交流・活躍できる場の創出～「くるくる桜マルシェ」を中心として～	100,000
13	PICNIC Tennis Team	テニスを通じた学内関係者の健康増進と学外者への大学のアピール	73,000
14	全学学類・専門学群・総合学域群 代表者会議	授業評価冊子『BRIDGE』の発刊	80,000
15	つくばろぼっとサークル	ロボットの製作及びロボットコンテストへの参加	86,000
16	女子ラクロス部	第36回関東学生ラクロスリーグ戦参加事業	64,000
17	筑波大学混声合唱団	筑波大学混声合唱団第49回定期演奏会および筑波大学混声合唱団50周年記念演奏会における委嘱曲初演	80,000
18	筑波大学応援部 WINS	筑波大学応援部WINS	100,000
19	筑波大学ねっしー・自然教育研究会	ねっしーと夏のキャンプ合宿－「あたりまえ」を発見して、世界の見方を少し変えてみよう－(仮)	84,000
20	筑波大学つくば鳥人間の会	人力飛行機の機体製作ならびに試験飛行	82,000
21	筑波大学フットサル同好会	競技フットサル	46,000
22	筑波大学アカペラサークル Doo-Wop	筑波大学アカペラサークルDoo-Wop 冬ライブ2025	74,000
23	筑波大学新聞	追跡・マレーシア校開校	100,000
24	筑波大学令和6年度日韓青少年対話型 交流事業委員会	創基151年筑波大学開学50周年記念冠事業 令和6年度日韓青少年対話型交流事業	78,000
25	筑波大学宇宙技術プロジェクト	能代宇宙イベントへの参加	79,000
26	筑波大学体育会硬式庭球部	【筑波大学共催事業】 筑波大学MEIKEIオープンテニス	70,000
27	日本マラウイ学生団体	2025年度渡航事業	54,000
28	Nguyen Ngoc Lan Chi	つくばベトナム子供クラブ	74,000

合計額 2,028,000

Peer Garden

茗溪アルバム 茗溪創基150年記念事業

茗溪150年の思い出を紡ぎませんか？



山岳部員のバッジ

上は1本のザイル、下は2本のザイルが絡むデザインに縁どられ、五三の桐にAlpine ClubのイニシャルACがデザインされている。

山男の歌

娘さんよく聞けよ
山男にや惚れるなよ
山で吹かれりやよ
若後家さんだよ
山で吹かれりやよ
若後家さんだよ

昭和37(1962)年、ダークダックス(男性四重合唱団)が発表した『山男の歌』の一節である。神保信雄の作詞であるが、江田島の海軍兵学校で愛唱された『巡航節』が元歌らしい。

▼ 昨年の夏、唐沢孝一氏(S41教大動物)から「思い出の品(寄贈)」と題するメールが届いた。

▼ 在学中に所属した山岳部のバッジその他の画像を寄贈させていただきます。どうぞ宜しくお願いします。

寄贈の品々の説明とともに、画像が送信されてきた。

▼ 手元に残るのは「部員バッジ」と「シユラフ」、「山岳部の部報、「白馬」(隈部研二追悼録編集委員会)、数枚の写真、劣化した白黒写真のネガフィルムのみ。個人装備のほとんどは散逸しました。

ほとんどが散逸した中で「部員バッジはベルトに取り付けられたまま書棚の片隅に残っていた」、ということである。その部員バッジが、上の画像である。

● 山岳部 部員バッジ

唐沢は、『山男の歌』が発表された年に、東京教育大学に入学した。入学後2か月ほどして、山岳部に所属した。だが、部員バッジを手にしたのは翌年である。

新入部員は一年間頑張り、2年生になると正式な部員として認められバッジが賦与された。「バッジを手にした時の嬉しかった記憶が甦る」と、唐沢は記す。

部員バッジを手にした当時の喜びと、一枚の画像に説明が加えられていた。

左の画像は、バッジの裏面で、下方に74という数字が刻印されている。これは部員番号ということである。



東京教育大学山岳部は、文理大からの伝統を継承し、昭和25(1950)年に復活してから、昭和53(1978)年に閉部となるまで活動を続け、120名程の部員が卒業していった。

部報「偃松」第11号には、井出陽郎氏(S31教大農)の部員番号が「8」で

あると記されていることから、唐沢が卒業するまでの間に、66名の山岳部員が卒業したことになる。部員が1名の学年や10名を超える学年もあり、学年平均6〜7名の部員がいたようである。



「部員バッジを見ると、汗して登った山々と青春の日々が思い出される」と記す唐沢の、誇らしげに部員バッジをベルトに取り付けた若き姿が目につく。

昭和31(1956)年、「経済白書」が「戦後は終わった」とした年である。その年の5月、日本隊がマナスル初登頂を達成し、その記録映画『マナスルに立つ』が上映され、全国の映画館は長蛇の列をなす盛況ぶりであった。また、井上靖の小説『氷壁』が新聞連載されるなど、空前の大衆登山ブームが起った。

ちょうど、部員番号8番の井出陽郎が卒業した年である。

東京教育大学に山岳部が復活した年から井出が卒業する6年間の部員はわずか8名だったが、井出の卒業年を境に、山岳部は活況を迎えることとなる。

● 山道具

唐沢は、「アルバイトをしながらキスリング(2尺4寸)、登山靴(水道橋の登山専門店で注文製作)、ピッケル、シエラフなどを揃えた」と記している。



教育大山岳部の春合宿(南アルプス、昭和38年3月)より
キスリングの口の横幅は、2尺4寸(80cm)と1尺8寸(60cm)があり、「ニコヨン」「シャクハチ」と愛称された。この横幅により、列車内に横歩きで入ったため、「カニ族」と呼ばれた。

ピッケルやアイゼン、キスリング、登山靴などの山道具のほとんどが輸入品で、当時の学生にとっては、「超高級品」ばかりであったはずである。

昭和初期、国産登山具は、仙台の山内東一郎と札幌の門田直馬という卓越した技能をもつ鉄加工職人によって作られた。

同じ頃、二代目片桐盛之助がスイス製のザックをもとに、日本初のキスリング型リュックザックを製造している。

純国産登山靴は、「キャラバンシューズ」として知られた軽量登山靴であった。

(株)山晴社(のちの(株)キャラバン)の創業者佐藤久一郎が(株)藤倉ゴム工業の協力を得て制作し、第一号を発売したのは昭和29(1954)年のことである。

昭和31年の日本登山隊マナスル登頂は、大衆登山への道を拓いただけでなく、その後の日本の山道具にも大きな影響を与えた。

職人や起業家の手による山道具の出来栄への噂は瞬く間に広がり、ここに、山道具の国産ブランドが誕生した。

唐沢が山岳部員として活躍した当時、門田のタニアイゼンとピッケルは、山岳家にとっては、憧れの品でもあった。1960-70年代に製造された特殊金属モデル



大衆登山の時代の到来とともに、「キャラバンシューズ(ハイキングやワンゲル用)」は「登山靴」の代名詞として愛用されたが、岩壁を登攀する靴ではない。

近代アルピニズムを信条とする山岳部員にとって登攀靴は命を預けるもので、自分の足の形状やサイズに合わせて専門店(唐沢の場合は、水道橋の「深沢」)で注文製作するのが常であった。

● 占春園の銀杏の木

唐沢より2年後輩の山岳部員に、清水進一(S43教大数学)がいた。唐沢も、印象深い部員として清水を覚えていた。

平成26(2014)年、神奈川茗溪会の会長でもあった清水は、「茗溪かながわ」第4号の中で、「雑感―茗荷谷」として以下のように記していた。

▶現在は、昔の校舎は跡形もありませんが、占春園だけは残っています。時々昔を思い出しながら付近を散歩していますが、あの頃と比べると、池の周りは鬱蒼とした森になり、私が過ごした昭和39〜43年春の頃とは大分変わりました。



▶その中に、池の畔の銀杏の木が巨木になって残っています。この木は私にとっても忘れがたいもので、山岳部員であった私たちの岩登りの訓練場所でもありました(他に、W館の横にあった高い煙突も懸垂下降の練習に使いましたが)。

▼垂直な岸壁にハーケンを打ち、鎧を使って登攀するための練習には最適な木で、銀杏には申し訳ないと思いますが、私が大きな事故もなく活動できたのも、この訓練のお蔭ではなかったかとも思います。

▼卒業後も、東京に出かけた時などは、機会があれば必ず占春園に行き、銀杏の木の下から、一本だけ残したハーケンを眺めては学生時代を懐かしく思い出していました。そのハーケンも、ここ十数年前から見る事ができなくなりました。

*文中では、敬称を略させていただきます。ご了承ください。

思い出の品々の寄贈(お願い)

茗溪創基150年記念事業

「茗溪創基150年記念事業」への参加のあり方として、「思い出の品々」を寄贈していただく企画を実施しています。

1. ご寄贈いただく「思い出の品々」について

- ・「思い出の品々」につきましては、その内容の指定や限定はございません。
- ・ご提供頂く場合、「簡単な説明」等を添えていただければ幸いです。

2. 送り先

- ・電子資料は、メールにて(peer@meikei.or.jp)までお送りください。
- ・郵送先は、「茗溪会大塚事務所」宛てに願います。

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 茗溪会館内(電話 03-3941-0136)

持続可能な社会の 作り手の育成を目指して

中島 博司(57筑一人文)

はじめに

私は、1978年4月に筑波大学第一学群人文学類に入学しました。人文学類5期生になります。専攻は日本考古学でした。卒業後、茨城県の県立高校の教員となり、主に日本史を教えていました。2020年3月31日、茨城県立並木中等教育学校(茨城県初の公立中高一貫校)の校長を最後に定年退職し、その翌日、株式会社FCEに入社しました(本社新宿、東証9564)。エデュケーション事業本部の参与として、教員研修総合サイトFind!アクトイブリーダー、生徒向けPDC A手帳フォーサイト、生成AIで業務負担を劇的に軽減し働き方改革を推進するFCEプロンプトゲートなどを担当しています。

また、2015年に校長になった時から、アクトイブ・ラーニングについて研究するとともに、教員研修会などで講師をつとめています。これまで、全国各地の小中高校、大学・専門学校などで200回以上講演を実施しています。去る2024年5月17日には、茗溪会館で開催された「茗溪・筑波 教育懇談会」で、「これから育てる表現の力」R80の効果を中心に」と題してお話

させていただきました。今回、伝統ある季刊誌『茗溪』への執筆の機会をいただきましたので、この演題の副題にあるR80について書かせていただきます。

大学入試で求められる 「書く力」と「読解力」

「現在の大学入試」がどう変化しているのか、ピンと来ない人は少なくないでしょう。大学入試は、2021年から大きく変わりました。制度としては以下の3種類があります。①学校推薦型選抜(旧・推薦入試)、②総合型選抜(旧・AO入試)、③一般選抜(旧・一般入試)。パッと見てわかることとして、名称が「入試」から「選抜」になっていきます。現在、①と②の選抜で、私立大学への入学者は5割を超えています。国公立大学はまだ2割程度(筑波大学は約3割)ですが、ゆくゆくはもっと増やすという目標が掲げられています。現在、①と②の選抜方法で重きを置かれているのが小論文です。

大学によって違いはありますが、小論文に面接やプレゼンテーションがついてくるとというのが基本です。つまり、書く力や話す力を測られて大学に入る時代へと変化してきているわけです。付け加えると、③の一般選抜も、以前とは様変わりしています。1つは、一般選抜にも記述問題が増えているというところ。やはり書く力が重視される時代になってきたという表れです。もう1つは、2021年から大学入試セン

ター試験が「大学入学共通テスト」になり、出題傾向が変わったことです。私が教えていた日本史でも、その場で問題文をよく読み込んで考える力がないと解けない問題が多くなりました。さらに、国語や英語などでも問題文が長文化しています。つまり、長文の読解力が不可欠になったのです。

R80(アールエイティ)とは

そんな変化著しい現在の大学入試に対応できるメソッドが、R80です。私はR80を、「思考力・判断力・表現力を身につけ、論理力を育成する」アイテムとして考案しました。読みは「アールエイティ」ではなく、「アールエイティ」です。Rは「リフレクション(振り返り)」と「リストラクチャー(再構築)」のR、80は80字以内の文章を書くという意味の80です。R80のルールはたった2つだけです。

- ① 2文構成で80字以内で書く
- ② 2文目の最初に必ず接続詞を使う

2文目の最初に使用する接続詞には、次のようなものがあります。順接(したがって・ゆえに・だから)、逆接(しかし・だが・ところが)、並列(また・ならびに・かつ)、対比(一方)、換言(つまり・すなわち)、理由説明(なぜなら)。

大学入試の記述問題や小論文で必要とされるのは、文学的な文章ではなく、論理的な文章です。R80は接続詞を使

うことで、読む人に対して補助的に、もつと言うなら強制的に、展開を示していきます。そのことで論理的な文章にしていくわけです。R80をやってみて最初に実感するのは、文章を書くハードルがぐんと下がることでしょう。続けられれば、スタート時点の学力に関係なく、自分の考えを論理的かつ簡潔に書くことができるようになります。ある程度慣れれば、誰でも80字が2分以内で書けるようになります。

因数分解法とは

さて、現在の大学入試において、小論文が重要視されていることは先述しました。小論文となると、80字よりうんと長文を書けるようにならないといけません。そこで提唱したいのが、「因数分解法」です。難しそうな名称ですが、すごく簡単です。小論文の字数を因数分解すれば、R80×○回というふうに考えられる、という話なんです。

原稿用紙を渡されて「はい、400字で自由に書いてね」と言われたら、文章の苦手な子の頭にはまず、指定された400という字数が浮かぶでしょう。そして、それだけの字数を埋める方法が思いつかず、途方に暮れてしまいます。そういう子たちが「自分は文章が書けない」と思い込んでいる気がします。ところが、R80という「型」を知っている子だと、反応が違います。「R80を5回」ということが浮かびます。そこから、まずは結論的なR80を書けるかな、といった考えを展開していくこと

ができます。ルールのないスポーツがないように、文章にも一定のルールがあったほうが、どうプレーすべきかが見えてくるのです。

それでは、R80の因数分解法を具体的に見ていきましょう。やり方は以下の3段階です。①字数をR80×○回と因数分解する、②1・3・1に配分し、序論・本論・結論を書く、③本論は3つの具体例を等分を書く。序論では、課されたテーマに対する自らの認識を整理し、論点を示します。本論では、論点について具体例を展開します。結論では、ここまでの内容をまとめ、課されたテーマに対する結論を出します。たとえば400字の場合、因数分解法でいうと、R80×5回です。その5回を1・3・1に配分すると、序論(R80×1)、本論(R80×3)、結論(R80×1)、ということになります。本論のR80×3は、3つの具体例にそれぞれR80×1を振り分けます。小論文場合、説得力を増すために特に大事なものが、本論で3つの具体例を挙げることで、独自性を出して唯一無二の小論文にするには、具体例が不可欠なのです。ある程度の長文で何かを論理的に説明しようと思ったら、3つ具体例を挙げることで説得力が増すと私は考えています。

因数分解法に慣れれば、R80の延長の感覚で、長文を書けるようになります。400字、800字、1200字と、長い文章にもどんどん対応できるようになっていきます。大学入試の小論文どん

と来い、です。さらに大学でのレポートや試験、さらには社会人になってからもいろんな機会に活用することができるはずですよ。

話し方も上手くなる！

ある年の春、並木中等教育学校で取材があった時の出来事です。生徒たちのインタビュを終えた方が、私のいる校長室へ挨拶に見えました。そこで、まったく予期していなかった言葉をかけられたのです。「校長先生、生徒さんがR80で話していましたよ！」「最初に結論を言って『なぜなら』だからです」と締めくくるんです。あれはR80ですね。簡潔に、しかも論理的に話すので驚きました。驚いたのは私の方です。私はそれまで、R80を「書くアイテム」だと考えてきました。生徒たち自身も、R80で話そうと意識してやっていたわけではないと思います。それでもR80を2年間書いてきた蓄積で、自然と口から出るようになったのでしよう。つまり、R80を書くことで「考える力」をつけた結果、「書く力」だけでなく「話す力」まで体得していたというわけです。予想外の成果でした。

私の講演会で、質疑応答の時にこう聞かれたことがあります。「中島先生の講演がわかりやすい理由は何ですか？」私は「R80で話しているからだと思います」と答えました。いつの間にか、私自身も「無意識のR80」の使い手になっていったのです。講演など人前で話す時、私が特によく使うR80の

型があります。「結論(1文目)。なぜなら、理由(2文目)」です。最初に結論を言って、「なぜなら」だからです」と根拠を述べていくのは、話し言葉としても非常に使いやすいのです。聞き手からしても論理的で説得力があるので、話した内容に納得してもらえます。

もうひとつ、私の講演がわかりやすい理由を挙げるなら、スライド資料をR80感覚で簡潔にまとめていることです。R80で「プレゼン力」まで高まるのです。このように、R80を続けていくと「書く力」だけでなく「話す力」もついてきて、様々な場面で「無意識のR80」を使えるようになります。これって一生ものだと思います。

書籍『R80』の出版

2023年11月、R80が本になりました。書名は『R80 自分の考えをパッと80字で論理的に書けるようになるメソッド』です。神田神保町の飛鳥新社から一般啓発本(ビジネス書)として出版しました。飛鳥新社は、大ヒットミステリー小説『変な家』を出版しており、その担当である杉山編集長が、私にR80の出版を勧めてくれました。実は、私の教え子なのです。

この本が出た結果、R80がさらに全国に広がっています。本を読んだ方から講演の依頼を多数いただいています。最近では、高校だけでなく小中学校の教員研修会にも呼ばれています。広島県三原市では、全市を挙げて小中学校で

R80に取り組んでいます。ある大学では、書籍をテキストとして採用してくださいました。大手専門学校や企業での講演も決まりました。そして、現在、R80書籍第2弾として、イラストレーター原あみさんと一緒に小学生版を作っています。2025年春には書店に並ぶ予定です。出版社は飛鳥新社、担当は杉山編集長です。

おわりに

私は、37年間教員として、若者たちの未来のために、一所懸命仕事をしてきました。60歳で定年退職したあと、チャレンジャーとしてビジネスパーソンに転身したのは、株式会社FCEに入社することで、全国の学校にアプローチできると思ったからです。私のミッションステートメントは、①R80を全国に広めること、②アクティブ・ラーニングを全国に広めること、③日本の教育の未来に貢献することです。そのことよって、持続可能な社会の作り手の育成に、お役に立てればと考えています。65歳になりましたが、もう少し頑張りたいと思います。これからも、どうぞよろしく願っています。(元茨城県立並木中等教育学校校長)



子供たちに「夢・発見・未来」を

寺子屋 日々喜

TERAKOYA HIBIKI

筑波大学発祥の地
文京区で令和の寺子屋スタート



筑波大10期卒業生の海老澤敬子です。現在、東京都文京区に住んでいます。文京区は、筑波大や東大をはじめ18もの大学があります。また、国立の小学校が3校あることから教育熱心な子育て世代が多く流入し、世間では少子高齢化と言われていますが、文京区は右肩上がりに子供の数が年々増えていきます。結果、区立小学校は「普通教室」が足りなくなり、「放課後の子ども居場所」(育成室・学童)も足りない状況です。

また、区立小学校に通う子の2人に1人は私立中学校に進学し、中には中学受験率が7割を超える区立小学校もあります。しかし、全員が受験をするわけではありません。クラスメイトの多くが進学塾に通うなか、進学塾には行かないけれど、勉強をしたいなあ、苦手科目を克服したいなあと感じている子もいるはずです。

保護者も、子どもの勉強を見てあげたい、もつと子どもにいろいろな経験をさせてあげたい、でも時間がないと感じている方も多いはず…、と私たちは考えました。

そこで、昨年8月から、子どもたち一人一人に寄り添い、形式にとらわれず、『誰もが学ぶ楽しさ』、『できた喜び』、『わくわくする新たな発見』が出来る場所を目指して「寺子屋日々喜(てらこやひびき)」をスタートさせました。

場所は、春日にある曹洞宗系の単立

寺院「多福院(たふくいん)」さんの本堂で水曜・土曜夕方に、そして今年6月からは、湯島にある臨済宗妙心寺派で春日局の菩提寺である「麟祥院(りんしょういん)」さんの「葉集軒」で毎週土曜日昼間に活動しています。

そのプログラムは、誰もが楽しめるように「自由時間」・「勉強の時間」・「感動学習の時間」の3本立てです。「自由時間」は30分間で、お勉強の前に大学生や他校、異学年のお友だちとの喋りやゲームを楽しみ、コミュニケーション力を培う貴重な時間です。

「勉強の時間」は、60分間で大学生や地域の方による「個別指導」で、苦手教科や宿題に取り組み時間です。個別指導ですので、ひとつの教室で1年生から6年生までが一緒に勉強します。そのため、1年生の音読が教室中に響きわたる事もあります。



勉強の時間に音読をする様子

「感動学習の時間」は、30分間でおやつを食べながら、様々な感動体験をする時間です。その道のプロの方や、大学生が講師となり、社会の話や経済の話、工作や手芸、音楽や空手などのスポーツなど毎回違った体験ができます。私たちは、この「感動学習の時間」をととても大切にしています。

先日の感動学習の時間に「花火とスイカ割り」を行いました。小学生はもちろん、講師の大学生も花火をしたことのない学生がいて驚きました。また丸い大きなスイカを見たことがない子もいました。確かにスーパーで売られているスイカは、カットされラップで包まれています。今の時代と私たちの子ども時代とは、環境が大きく変化しているんだなあと感じて実感いたしました。

こうして些細な非日常を体験することが、子どもにも学生にも生きる為の日常の糧となることと信じています。寺子屋日々喜に来た子ども達も、楽しかったと笑顔で家に帰り、また来ようと思ってもらえたら、私たちは最高に嬉しいのです。



感動学習の時間「スイカ割」の様子

茗溪・筑波産業人倶楽部Ⅱの開催(案内)



1. 開催の日時と会場等

- (1) 名称：茗溪創基150年記念事業 第2回 茗溪・筑波産業人倶楽部全国展開発表の会
- (2) 日時：令和7年2月22日(土) 13:00~17:00
- (3) 会場：茗溪会館 2階「茗溪の間」(2F受付)
住所／東京都文京区大塚1-5-23
交通／地下鉄 丸ノ内線 茗荷谷駅から徒歩3分
- (4) 参加費：3,000円(当日、受付にて徴収)



茗荷谷駅方面から見た茗溪会館

2. 会の流れと交流の基本単位例(テーブルからフロアへ)

*テーブルは指定制で、3度変わりますが、それ以降は自由です。
テーブル構成は、実行委員(2名)、参加者(6名) 右表参照⇒



自己紹介と小さな乾杯の風景(茗溪会館 2023/12/9)

A	氏名	所属	2回	3回
1	蟹村 甲羅	北海道	B	C
2	阿蘇 容一	熊本	C	D
3	東宮 安家	栃木	D	E
4	津軽 平造	青森	E	H
5	萩原津和野	山口	F	G
6	鳥栖 泰子	佐賀	G	H
◎	大塚 京子	理事	A	A
○	高師 等	理事	A	A

- 1. 茗溪会理事長挨拶 13:00-13:05
- 2. 当日の流れの説明 13:05-13:10
- 3. 自己紹介と小さな乾杯Ⅰ 13:10-13:25
▶別テーブルに移動① 13:25-13:30
- 4. 自己紹介と小さな乾杯Ⅱ 13:30-13:45
▶別テーブルに移動② 13:45-13:50
- 5. 自己紹介と小さな乾杯Ⅲ 13:50-14:05
- 6. 情報提供の時間 14:05-14:45
・開発製品の紹介、試飲・試食、実演、直売等
*事前に情報提供の希望をしていた方々に限ります
- 7. 大きな乾杯 14:45-14:50
- 8. 懇談(自由に移動可) 14:50-16:30
- 9. おさらい 16:30-16:50
・協力・共同・連携への試みの公表・呼びかけ、手応え
- 10. 大団円 16:50-17:00

- ・自己紹介Ⅰ・Ⅱ(60秒/人)
- ・自己紹介の進行：テーブルマネージャー(茗溪会理事)
- ・小さな乾杯手配：フロアマネージャー(事務局員)



- ・別テーブルに移動①・②
- ・総合司会の号令により、テーブル席の移動開始



前口上

「第2回 茗溪・筑波産業人倶楽部全国展開発表の会」、これが正式の名称ですが、「茗溪・筑波産業人倶楽部Ⅱ」と略させていただきます。

開催意図は、この会を魁として、各地に異業種交流の輪が広がれば、という願いが込められています。

昨年12月、感染症が熾り続ける中で開催で大々的な案内は避けましたが、95名の方々に参加(罹患による欠席者10名を除く)をいただきました。

・遠方から参加される方々に配慮し「午後開催、夕刻閉会」する
・顔見知り同士で固まらないように「交流機会を人為的に設定」する

この二大原則によって進行し、笑顔と賑わいの中で会を閉じました。

今回も更なる賑わいを願います。

【申込方法】

いずれかでお申し込み下さい

①QRコード(本頁右上参照)

《参加登録フォーム》

②茗溪会HP

イベント情報→茗溪・筑波産業人倶楽部Ⅱ→《参加登録フォーム》

【問い合わせ】

茗溪会大塚事務所(担当:栗原、花上)

☎ 03-3941-0136

✉ info@meikei.or.jp

元素講話こぼれ話 第六話： 花火と元素

大嶋 建一

日本の夏の楽しみは様々な形を装飾した花火の鑑賞である。日本の花火大会は江戸時代に飢饉や疫病によって亡くなった多くの人々への鎮魂から始まったそうである。中でも長岡、大曲（現大仙）、土浦の花火は歴史の長さ、規模の大きさ、打ち上げ技術の高さなどから「日本三大花火大会」と呼ばれている。本年8月2～3日には長岡市で、8月31日には大仙市で花火大会が実施され、私は大曲の花火大会をNHK・BS1にて鑑賞することが出来た。さらに、土浦の大会は本年11月2日に開催される。

初めに、花火の色は“炎色反応”に由来するので、ナトリウム原子についてその現象を述べる。

ボーアの原子模型を思い出して下さい。原子は中心に原子核があり、その周りを11個の電子が離散的に回っている。原子が加熱されると、最外殻の電子は熱のエネルギーを吸収して外側にある電子の軌道に励起される（図1）。しかし、移動した電子は不安定なので、電子は余分なエネルギーを可視光として放出して元の安定した軌道に戻る。この発光が花火の色として見える（図2）。

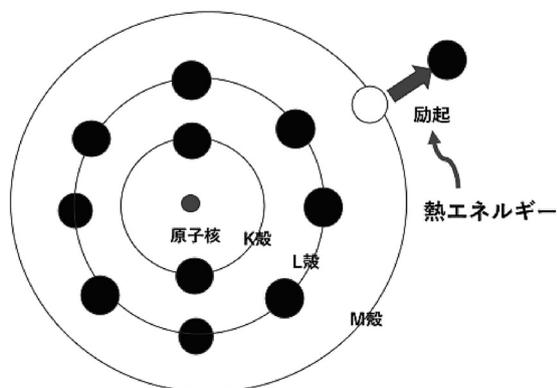


図1：ナトリウムイオン Na^+

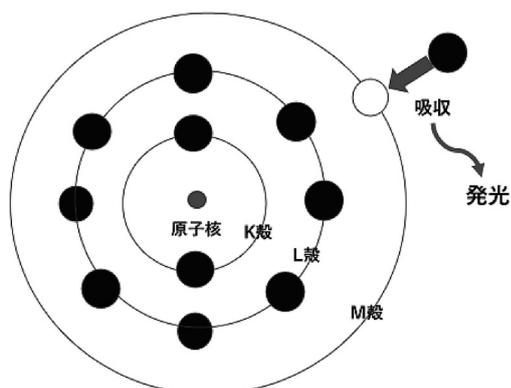


図2：ナトリウム原子 Na

以下の表では1族と2族の金属元素の炎色反応で発光する色を示す。

元素名	Li	Na	K	Rb	Cs	Ca	Sr	Ba	Ra
族	1	1	1	1	1	2	2	2	2
色	深紅	黄色	淡紫	暗赤	青紫	橙赤	深紅	黄緑	洋紅

ここで、元素の多くは金属元素であるので、その性質を述べる。金属は多数の原子が規則正しく配列して結晶となっている。そして、最外殻の電子は自由に結晶内を動き回るので自由電子と呼ばれ、さらに、原子同士を結びつけているのでこの結合を金属結合と呼ぶ。その結果、金属は

- 1) 自由電子によって光が励起されて特有な金属光沢を示すこと、
 - 2) 自由電子が自由に結晶内を動き回っているので電気や熱の伝導性が大きいこと、
 - 3) 原子同士がずれても自由電子が全体に共有されていて、展性や延性を示すこと、
- の3つの性質を持つ。

ところで、花火の仕組みについて、花火師の山崎芳男さん（株式会社 山崎煙火製造所）のわかりやすい説明があるので、その内容を要約して紹介する。

「花火に使う金属は価格と安全面からNa(黄)、Sr(紅)、Ba(緑)、Cu(青)の4種類であり、これらの組み合わせにより、多彩な色と濃淡を作り出す。さらに、Mg、Al、Tiの金属の粒子を配合すれば、一瞬のまばゆい輝きやゆっくりと儚く散る光など、光に豊かな質感を与えることが出来る。そして、それら火薬の配合、「星」と呼ばれる火薬玉の並べ方により多彩な花火を作ることが出来るので、花火師の腕の見せ所を十分に発揮できる。自慢作は“銀点滅”で、最後にすべての光が消え去るタイミングをそろえて、10号玉（直径320m、約700個の星）と呼ばれる大輪の花火を実現させたことであり、この花火は花火界の最高榮譽である『内閣総理大臣賞』を受賞した。」

花火は夜空というキャンバス上に、元素が持つ特有な化学的性質を十分に利用して、一瞬の絵を描く芸術であると言っても過言でない。

参考文献：

- ・山崎芳男：NIMS NOW, 2019, No.2, p12
- ・炎色反応：ウィキペディア フリー百科事典
- ・「元素のしくみ」：発行 西東社、監修 栗山恭直

『仏教教育学と教育博物館の研究』

著者…土井進 (S47教大教 S51教大教修)
本の大きさ…A5判 全445頁
発行所…ジダイ社
発行年月日…2022年11月27日

私は1968年(昭和43年)に東京教育大学に入学し、「聖徳太子と法華義疏」について講義される唐澤富太郎先生の太く響く声に感動し、この先生の下で教育学の研究に取り組みたいと考え、師事しました。大学紛争が激化する直前の出会いでした。本書の第一の特色は、唐澤先生が建設された「教育博物館」の根源は、ものごとくは一如していると観る仏教教育思想にあることを究明した点にあります。第二の特色は、学生が唐澤博物館においてスケッチによる実物教育を実践したことによって、ものごとくに込められている「ところごとく」を見事に表現したことです。現代の学生によって、唐澤先生の仏心一如の仏教的精神がしっかりと受け継がれている、という思いを深くしました。(著者記)

『都会の鳥の生態学』

著者…唐沢孝一 (S41教大動)
本の大きさ…新書判 全233頁
発行所…中央公論新社
発行年月日…2023年6月25日

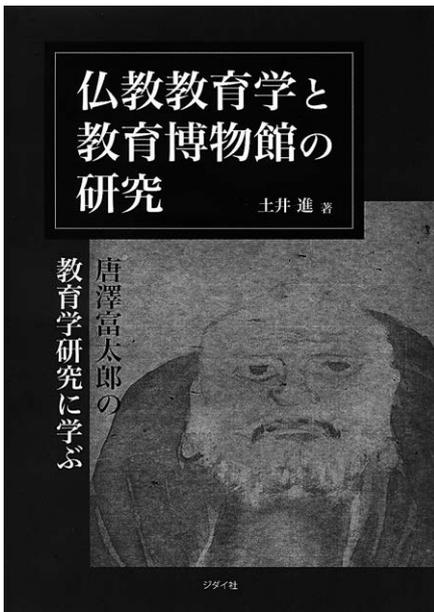
本書は、首都東京を舞台に繰り広げられるカラスと猛禽類のバトル等、都会に生きる鳥たちの生態を介して都市とは何か、都会人とは何か、変化する人と自然の関係を解析し紹介したものである。都市環境に適応して生きる鳥たちのしたたかな生態を解説すると共に、一極集中する巨大都市「東京」の変貌をひもとく「都市の自然誌」でもある。第一章「人と鳥のソーシャルディスタンス」では、人とスズメとの距離を通してみえてくるロンドンと東京の比較。第二章「ツバメ」と第三章「スズメ」では、人との共存関係の崩壊や新天地への進出など。第四章「水鳥」では、都市河川に再適応したカワセミ、ビル屋上で繁殖するコアジサシなど。第五章「カラス」では、急増し、激減した都心のカラスの背景にあるゴミ問題、リサイクル社会、コロナ禍の影響等々。第六章「カラスと猛禽」では、カラスの減少に伴うオオタカやハヤブサ、フクロウなどの猛禽類の都市進出という新局面を紹介する。(著者記)

『スポーツの価値』

著者…山口香 (S62筑体)
本の大きさ…新書判 全192頁
発行所…集英社
発行年月日…2023年8月17日

はじめに…スポーツは感動の「打ち上げ花火」
スポーツを通して自分とは異なる他者と出会い、力を合わせて協議する中で、多様性の重要性を理解したり、コミュニケーション能力が高まります。スポーツを介したつながりは、コミュニケーションを支える基盤にもなり得ます。また、スポーツによって鍛えられる分析力や行動力、戦略性は、学業やビジネスにも役立ちます。本書では、このような「スポーツの多様な価値」を考えたいと思います。

序章…東京五輪の「レガシー」とは何だったのか
第1章…子どもが輝くスポーツのあり方
第2章…スポーツから考えるジェンダー平等
第3章…沈黙するアスリートたち
終章…スポーツの価値とは何か
おわりに



◆筑波大学農業土木関係同窓会

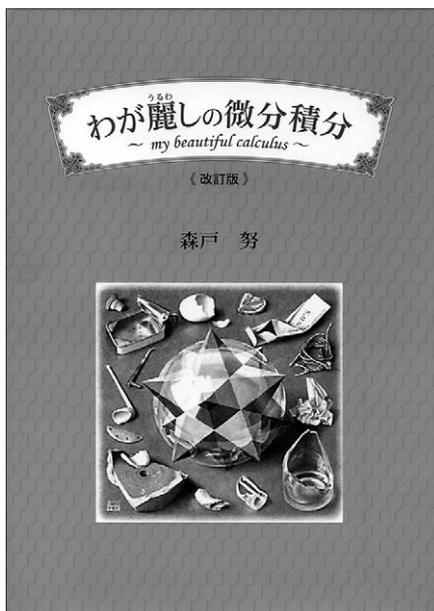
とき 令和6年4月27日(土)
 ところ ホテルグランド東雲
 農林学類の開学時に大学院生で学生を指導して下さったお二人の先輩が、教鞭を執っていらした大学を定年退官されたのを祝って、昭和年代の卒業生が集って久しぶりの再会をしました。
 持丸 晴久 (S57年農林学類卒)



◆筑波自然84会～40年ぶりの再会～

とき 令和6年8月4日(日)
 ところ “嘉ノ雅” 茗溪館
 学群の改組再編に伴い姿を消した「第一学群自然科学類」。当時、200名程の同期が自然科学の名のもとに学んでおりました。この自然科学類を1984年に卒業した同期21名が、40年ぶりに茗溪館に集いました。始めはWho?のメンバーも、不思議なもので時の隔たりは一瞬に消え、往時を鮮やかに思い浮かべて語り合いました。時まさにオリンピックで盛り上がる中、我々同期もオリンピックイヤーの8月4日を目標に再会しようと誓いつつ閉会となりました。(文責：北原 隆朗)

著書紹介



『わが麗しの微分積分』(改訂版)
 ~ my beautiful calculus ~
 著者 著者：森戸 努 (52教大数)
 本の大きさ：B5判 全255頁
 発行所：(株)弘報印刷出版センター
 発行年月日：2024年4月29日
数学の美しさを伝えたい!
 著者は永年にわたり、県立高校において教職生活を送り、教育行政職や管理職の経験を重ねて定年退職しました。その後、大学や予備校で数学の指導に従事し、古希を迎えた記念に上梓したのが本書です。日本の高校で教えている微分積分は世界的に見てもハイレベルと言われています。したがって、かなりの部分は高校の範囲内で済みますが、将来、実用的に使う人にとっては、さらにその先の専門知識が必要となってきました。本書はあくまでも計算の技法や正しい結論を導くまでの過程を重視しました。また、所々に数学の美しさや不思議さに纏わる話題を取り入れたのは、問題解決の効率性のみならず、情緒的な視点も見失ってほしくなかったからです。高校数学からの架け橋として、ひと味違った、大学のリメディアル数学の魅力の堪能してもらえたら幸いです。
 (著者記)

茗溪・東西南北

令和6年度 大阪茗溪会総会

令和6年度大阪茗溪会総会は、2024年6月1日(土)に道頓堀ホテルで開催されました。なお、本総会は大阪茗友会(保健体育を専攻した者による組織)との合同で行われています。

総会に続いての講演会では、高橋基之氏(昭53筑一自然)より「感性を育てるこれからの「学び」の姿」という演題でご講演いただきました。最後は独唱をご披露いただきました。また、本総会には、春の叙勲で瑞室中綬章を受章されました大日方重利氏(昭40教大教)も



ご出席されました。講演会後の懇親会には、終始和やかな雰囲気、旧交を温める時間となりました。



大日方氏(左)と戸井田会長(右)



独唱を披露される高橋氏(右)

令和6年度 神奈川茗溪会総会・懇親会

令和6年7月20日(土)、ホテル・ザ・ノットヨコハマにおいて神奈川茗溪会の令和6年度総会と懇親会が、茗溪会本部より、井口武雄理事長、矢野正人事務局長、西村宗一郎大塚事務所長を来賓としてお迎えし、34名の参加で開催されました。総会で加藤充洋会長の再任が承認され、引き続き改革を進めていくことになりました。懇親会では、井口理事長にご挨拶をいただいた後、乾杯、歓談と、終始和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごしました。

(大石 進 S56筑体)



ご挨拶される井口武雄理事長



大森哲郎 大貫義人 大塚雄一 太田初美 大石進枝 遠藤優枝 江田昌佑 占部和章 梅林薫 梅川正誠 白井規善 上松豊 上原信子 上野雅恵 上野昇 岩村雅朗 岩崎正子 井本純史 稲岡純史 伊藤行生 伊藤静夫 伊藤聡 伊藤恭滋 出井善次 板本正夫 井田洋一 石渡和実 石橋泰 石川道夫 石川博之 石上裕 石井邦子 荒松徳夫 阿部聖仁 阿部隆 穴澤宏子 浅見高明 浅場ひろみ 浅井康明 赤堀正宜 赤川彰彦 相沢利一 相沢鎮夫 相川良雄

坂入浩 酒井政美 齋藤隆夫 最首静夫 小宮要洋 小林千洋 小林明子 小島正徳 後藤光将 後藤恒頭 古賀正義 合田浩之 桑原洋彦 倉澤任彦 國枝雄一 草間益良夫 日下部公昭 木村桂子 木下金蔵 北原信夫 北島瑞男 岸本弘子 岸恵美 菅野等 川本太郎 川又章 河野雄一 河合学 金子厚 金子十美代 加藤俊宏 加藤純一 加藤志乃婦 加藤澤男 榎原育乃 籠島充 小内稔 小山内努 尾崎士郎 奥山訓近 岡村芳成 岡田一郎 岡崎一雄

寺崎順 寺尾壽幸 寺井正憲 塚越二郎 千輝克忠 田村和浩 玉川信一 谷川文明 谷素子 田中守 田中誠一 立山隆治 立石忠徳 立石則雄 田澤直人 竹信武 竹内雅也 竹内章 武井治郎 高村克人 高橋通泰 高橋砂織 高野だいわ 高田治 高岡正幸 高井貞昭 瀬木明 炭本哲也 須藤英輝 鈴木泰全 鈴木輝秀 杉澤つま 白田佳子 庄司潤一郎 洪沢仁司 柴田淳 真田久 佐藤宣美 佐藤豊実 佐藤潤子 佐藤功 佐藤繁 佐々木千世美 佐久間秀人

古瀬範雄 藤原清華 藤原一宏 藤谷秀道 福田省三 福川辰之 蛭田成一 平松雅夫 平野光正 平形精一 比良皓一 土方多美枝 久本真里江 引地鳩司 東勇介 原山晃 原田隆康 原美子 原護 原正 原修 花田慎 萩尾則文 野村良和 根本治 糠沢ジョセフ 西村志郎 西村仲平 西塚春義 西種子田弘芳 新津武登 生井榮一 夏目幸一郎 中山芳典 中山貞夫 中村未知代 中村美枝子 中村伸夫 中村民雄 中澤市夫 仲沢市夫 永井肇 遠山正暁 土井原千穂

別所靖子 星野和彦 益田凡夫 町田龍一郎 松井康成 松坂浩一 松澤宏明 松谷知幸 松雪誉 三木雅子 水野民男 溝口繁美 三田浩司 南橋理 宮川俊平 宮崎洋子 武藤直人 武藤良夫 村上健治 望月眞 望月正大 本木幹雄 森戸努 矢島奈津枝 安ヶ平浩 八ツ田利幸 谷中隆 山浦正孝 山口正 山口直行 山口松太郎 山崎哲彦 山田嘉夫 山本敬三 山本雅一 吉尾健太郎 渡辺幸次 渡部徹 渡邊寛 (五十音順、敬称略)

『茗溪フェロー』ご協力のお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、会費完納会員を対象として創設された「茗溪フェロー」は、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円/年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。
会員番号は必ず記入してください。
(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)
クレジットカードでのお支払いもできます。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

追 悼 録 (敬称略)

逝去会員氏名・卒年科・地域・
逝去年月日・続き柄・遺族氏名

富田 慎男 19体専	香川	R6. 5.29	長男	富田 直樹	小池義之助 31教大体	静岡	R6. 7. 8	妻	小池佐知子
島内 輝 23大物	東京	R6. 7.15	長女	島内千恵子	伊村 元道 33教大英	東京	R6. 3.19	長女	伊村 由紀
平田 博則 25大教	東京	R6. 2.11	妻	平田 昭子	根立 俊樹 33教大日史	新潟	R6. 2. 2	長男	根立 隆樹
深澤 整 25理三	長野	R6. 2.23	妻	深澤貴美子	白井 通義 37教大教	愛知	R6. 7. 6	三男	白井 恵三
小長井重雄 26大東史	神奈川	R6. 8.27	長男	小長井大資	菅野 良夫 37教大数	神奈川	R6. 3. 4	妻	菅野 征子
大勝 信明 26文四	埼玉	R5. 5.26	長男	大勝 康弘	井上 和也 37教大体	千葉	R6. 3.25	妻	井上ひろ子
関 守男 26文四	神奈川	R5. 8.29	妻	関 章子	大藪 正哉 40教大哲	東京	R6. 5.26	長男	大藪 元史
瀬藤 康夫 27理一	兵庫	R6. 4.15	妻	瀬藤 豊子	茅根 榮子 41教大体	東京	R6. 7. 1	長男	茅根 悟
金子 稔 28大英	東京	R5. 5.14	長男	金子 義昭	多田 狷介 43教大東史	埼玉	R6. 8.21	妻	多田千津子
佐伯 重幸 28教大健	長崎	R6. 7.23	長女	立花 寿子	進藤 正雄 48院修健	茨城	R5. 5.29	妻	進藤万里子
川野 衡平 28教大体	熊本	R6. 7.25	次男	川野 治彦	鈴木 敏博 56筑一自	静岡	R5.12.12	妻	鈴木久美子
堀越 一雄 29教大農化	東京	R6. 6. 7	妻	堀越 順子	酒井 仁 59筑三情	新潟	R6. 1.26	妻	酒井 薫
三澤 得治 30教大地	静岡	R6. 7.19	妻	三澤 晨子	古城 健 59筑体	大阪	R6. 8.17	妻	古城みどり
赤羽 喜平 30教大農経	東京	R6. 7.22	長男	赤羽 博	木内 秀人 62筑三社工	千葉	R6. 7.13	妻	木内美智子
伊藤駿二郎 30教大農経	東京	R6. 7. 4	妻	伊藤 順子					

お 願 い

会員様のご逝去の連絡先について

◆茗溪会大塚事務所

メール : info@meikei.or.jp

電話 : 03-3941-0136

(火曜日、木曜日、金曜日

10時～16時)

※メールでのご連絡について

○会員様のお名前(漢字・フリガナ)

○ご逝去年月日(享年)

○会員番号が判ればご記載ください。

○ご連絡者のお名前、及び日昼に連絡のとれる電話番号を必ずご記載ください。

○茗溪会よりお問い合わせさせていただきますが、よろしくお願いたします。

(茗溪会事務局)



筑波大学は今

筑波大学マレーシア校、 クアラ Lumpur で開校

海外で初めて日本の学位を授与する大学として、筑波大学マレーシア校が9月1日、マレーシアの首都クアラ Lumpur で開校しました。9月2日にはマレーシア高等教育省の YB Dato Seri Diraja Dr. Zambry Abd Kadir 大臣をお招きし、署名式を挙行了したほか、日馬両国の代表者らが参加した開校式及び入学式も開催しました。

式典には、日本から矢野和彦文部科学審議官や在マレーシア日本大使館の



高橋克彦大使が参加されたほか、マレーシア高等教育省の YBhg. Dato Dr. Haji Megat Sany bin Megat Ahmad Supian 副事務次官も参加されました。

筑波大学と三井住友フィナンシャルグループによる包括的連携協定について

国立大学法人筑波大学と株式会社三井住友フィナンシャルグループ（SMBCグループ）は、大学と金融機関の新たな連携モデルを構築し、このモデルを全国に展開することで科学技術の進展および人材育成を進め、社会の変革に貢献することを目的とし、包括的連携協定を締結しました。

本協定を通じ、半世紀以上に誕生



した筑波研究学園都市にある筑波大学が、サステナブルで競争力のある運営基盤の確立に向けた経営変革に取り組み、総合金融グループである SMBC グループが、筑波大学の変革のパートナーとして多岐に亘る共創を進めてまいります。その上で新たな地域創生や、大学と金融機関の連携を先導するモデルとなることを目指していくものです。

グローバルヴィレッジ夏祭り 2024を開催

7月18日、グローバルヴィレッジの中庭を会場として、夏祭りを開催しました。本祭りは、グローバルヴィレッジ全棟の運用が開始した2018年から、入居する一般学生と留学生の交流推進及び留学生の日本文化・風習を体験することを目的として始まりました。

今年度は、グローバルヴィレッジの入居者と、短期留学・ショートステイハウス入居の短期留学生も参加し交流を深めました。祭りでは、益LIVE実行委員会を始めとした課外活動団体によるパフォーマンス、Ask Us Desk に、絵馬作成や水ヨーヨー釣りなどの縁日ゲーム、練香花火、わたあめ作り体験などが行われ、200名を超える学生が、日本の伝統的な夏祭りの雰囲気大いに満喫しました。

本祭りは、本学とグローバルヴィレッジの管理運営業務委託事業者の大和リースグループとの共催で開催しています。



茗溪学園だより

インターナショナル・ウィーク

6月下旬から7月19日までの期間に海外姉妹校から多くの短期留学生がやってきました(インドネシア、香港、台湾、ニュージーランド、オーストラリア5か国から70名)。

この期間を「インターナショナル・ウィーク」とし、昨年以上に積極的な交流プログラムを用意し、多様な文化価値観に触れる機会となるようにしました。留学生たちは、寮生活をし、各学級に所属して授業やホームルーム、



ラッフルズスクール(インドネシア)生徒との交流

部活にも参加するなど、日本の学校文化を体験しました。引率してきた先生方からも交流プログラムに対して感謝の言葉をいただきました。

海外派遣プログラム

夏休み中には、希望生徒を募って海外研修などが行われました。

7月7日・15名参加

姉妹校の「ラッフルズクリスチャンスクール(ジャカルタ)」を訪問し同校生徒宅にホームステイしながらの学校生活体験と、難民キャンプや孤児院などでのボランティア活動を通じて、異

文化理解や地球規模課題に対して国際協力の重要性を考える機会となりました。(クライストカレッジサマーキャンプ) 8月3日・17日・27名参加

姉妹校の「クライストカレッジ(イギリス・ウエールズ)」が主催するサマーキャンプで、ウエールズの大自然の中でロック・クライミングやカヌーなどのアクティビティを楽しみながらの語学研修。人気があり昨年より参加者が増えました。

個人課題研究中間発表会

恒例の個人課題研究中間発表会が、9月27日第1、2体育館を会場に開催



発表者のテーマは「LED照明で食品の腐敗を抑制することはできるか」

されました。IB課程生徒を除く高校2年生全員245名がポスター発表を行いました。発表は2会場に

82ブースを設置し同時に82名が発表、それを3交代で行いました。聴講するのは、来年の研究テーマ探しが始まった高校1年生です。

中間発表会ではありませんが、夏休み中に研究を進めてきているので、完成に近いものも多く、この発表会での質疑応答が完成に向けて重要な関門となっています。

全国総文祭写真部門最優秀賞・文化庁長官賞受賞

第48回全国総文祭・8月岐阜県開催に出品していた本高校3年生(女子)の作品が、写真部門最優秀賞・文化



作品名「規範美の囚われ者」

庁長官賞を受賞しました。総文祭に出席した同生徒は、表彰式のほか交流会や撮影会にも参加して他校の生徒達との交流を深めました。

中学ラグビー部2年連続日本一

第15回全国中学生ラグビー大会(9月14日・16日水戸市開催)に出場(関東地区代表)し、昨年に続く単独優勝2連覇を果たしました。決勝戦は京都市立伏見中学との対戦でしたが、初戦62対0、準決勝27対0と無失点で決勝進出した本校が、固い防御と展開スピードで優位に試合を進め31対12での勝利でした。

本大会出場は12回(実開催13回)優勝4回(2回は両校優勝)となりました。



速いテンポで積極的に展開する茗溪 (写真提供: ベースボールマガジン社)

部活動報告(試合結果など)

【高校運動部】インターハイ結果／バドミントン部 男シングルスベスト8(高2・過去最高成績)・男団体1回戦・男シングルス(高3)2回戦・男ダブルス1回戦・女ダブルス3回戦進出／**体操部**: 男個人総合13位・女個人(2名)予選敗退／**テニス部**: 男団体1回戦・男シングルス1回戦・男ダブルス1回戦

その他の大会／バドミントン部: 男茨城県代表として佐賀国体出場(10月開催)、全日本ジュニア大会県予選・男ダブルス優勝(全日本大会出場9月岩手県開催)、全国私学バドミントン大会7戦4勝3敗で25位(48校中)

【中学運動部】関東中学大会結果／バドミントン部: 女ダブルス1回戦／**柔道部**: 女個人3位全国大会出場／**剣道部**: 男団体ベスト16／**体操部**: 男団体3位全国大会出場(6年ぶり)・女団体8位(男女とも県大会を優勝しての関東大会出場)／**ラグビー部**: 全国ジュニアラグビー大会関東予選優勝(全国大会は12月東京開催)／**ダンス部**: 東日本大会通過(全国決勝大会出場)、**中学全国大会結果**／**柔道部**: 女個人48kg級ベスト16／**剣道部**: 男団体予選リーグ1勝1敗／**ダンス部**: 日本中学ダンス部選手権全国決勝大会入賞ならず

【文化部】科学部無線工学班: 日本アマチュア無線連盟主催R5年度登録クラブ対抗高校の部1位(大学まで含む学校対抗3位)、第66回ALLJAコンテスト電信電話部門マルチオペ・ジュニア優勝、第19回全国高校ARDF競技大会3.5MHzプリント高校団体2位男個人3位女個人2位・中学対抗の部団体優勝個人男2位3位個人女2位・144MHzクラシック中学団体優勝男個人1位2位女個人3位高男個人2位新人賞(高1の部で1位)／**書道部(中2女子)**: 第40回成田山全国読書大会特別賞受賞(112,466点中12名)「国内交流席書会」に参加

予告

茗溪倶楽部 in 博多

～異業種交流会～

令和6年11月9日(土) 15時～18時

IRISH PUB CELTIS

OB・OGキャリアカフェ

令和6年11月14日(木) 12時～

筑波大学

令和6年度 追悼のつどい

令和6年11月16日(土) 11時～

茗溪会館

東京茗溪会総会・講演会

令和6年11月24日(日) 14時～16時

茗溪会館

※詳細は同封のチラシ等を参照

1都4県合同新年会

令和7年1月11日(土) 14時～

茗溪会館

茗溪・筑波産業人倶楽部Ⅱ

令和7年2月22日(土) 13時～17時

茗溪会館

・情報交換及び懇親の会



株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成28年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人(昭57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120



株式会社 十和観光

代表取締役社長 井坂 信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」

TSUKUBA WAY プロジェクト

～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武(体育専門学郡) 2004年卒

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケ.エス.アイ

本社 〒557-0063
大阪市西成区南津守7-15-16

TEL 06-6652-8000 FAX 06-6652-8894



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)4501

取締役副社長執行役員 植岡 祥之(昭57筑社工)

学校服のことなら

株式会社 オлимпピア

〒124-0024 東京都葛飾区新小岩 1-43-6

TEL:03(3654)2251 FAX:03(3651)2323

<https://www.s-olympia.com>

取締役 渡邊(草間) 悟(56 農林・62 博農)

集めるのは「知識」と「技術」

さまざまなモノや思想を“寄せ集め”
教育の世界が求めるウオッツを形にする会社

PiCK & MiX

Keeping Up Innovation with Integrating
Art & Technology

株式会社ピックアンドミックス 代表取締役 松村直樹

<https://www.pickandmix.co.jp/>

FXC

Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者:代表取締役社長執行役員 谷輪 重之(93筑修経営)

筑波大学教員, 広島大学教員初のコラボレーション!

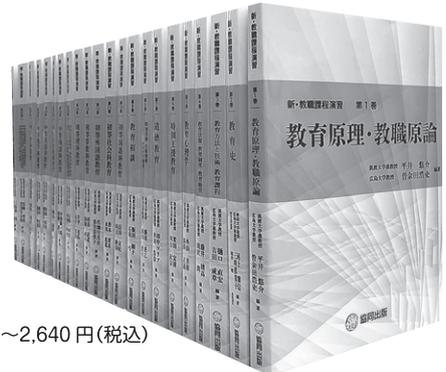
新・教職課程演習

全22巻

筑波大学人間系教授 清水美恵 監修
広島大学大学院教授 小山正孝

明治時代から我が国の教員養成をリードしてきた筑波大学教育学学位(大学院)プログラムと、
広島大学大学院人間社会科学研究所(旧大学院教育学研究科)の専任教員が編者として
初めて協力する画期的な演習シリーズ。我が国の教員養成の質向上を一段と図ります。

A5判・並製
定価:1,650円~2,640円(税込)



協同出版

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5
TEL.03-3295-1341 FAX.03-3233-0970 HP.<https://kyodo-s.jp>

「新・教職課程演習」全22巻

「筑波大学新聞」 10月号を同封します

春号に続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読み下さい。

◇今年度地域組織総会への理事参加状況

- ・大阪茗溪会
令和6年6月1日 高橋 基之
- ・茗溪会熊本支部
令和6年6月22日 矢野 正人
- ・静岡県支部
令和6年6月22日 西村宗一郎
- ・長野県支部
令和6年6月23日 高橋 基之
- ・新潟茗溪会
令和6年6月29日 小林 千洋
- ・筑波大学茗溪会
令和6年7月5日 新井 達郎
- ・福島県茗溪会
令和6年7月6日 高橋 基之
- ・茗溪会富山支部
令和6年7月6日 矢野 正人
- ・茗溪会愛知支部
令和6年7月7日 高橋 基之・廣田 則夫
- ・千葉支部
令和6年7月14日 小林 千洋
- ・神奈川茗溪会
令和6年7月20日 井口 武雄・矢野 正人
- ・茨城茗溪会
令和6年8月11日 鈴木 一弘

◇令和6年度 執行体制について

- 一般社団法人 茗溪会
- 代表理事 井口 武雄
 - 副理事長 阿江 通良
 - 副理事長 矢野 正人（事務局長）
 - 常務理事 高橋 基之
 - 常務理事 廣田 則夫
 - 監事 飯塚 良成
 - 監事 高野 力
 - 監事 中道 徹

◇公益財団法人 柴田育英会

毎年一回、奨学生（在籍8名）と柴田育英会役員、奨学生OB・OGとの交流の場である「奨学生懇談育成会」を10月20日（日）に予定しています。

◇令和6年度 オンライン教職研修会

日時 10月25日（金） 18時30分～20時30分
場所 茗溪会大塚事務所

表紙の言葉

（広報委員 鈴木一弘）

筑波大学の北東約50kmにある大洗海岸には、神が降臨したと伝わる岩礁の上に鳥居が建っており、そこは神磯と呼ばれています。草創期の筑波大学の学生は、「陸の孤島」つくばでの生活に必須であった運転免許を取得すると、まずは筑波山、次に大洗海岸をめざして友人たちとドライブしたものでした。

編集後記

本号では「持続可能な社会の作り手の育成を目指して」と題して、中島博司氏に教育のメソッドとしての「R80」を中心に書いていただきました。また、海老澤敬子氏には、一年前にスタートされた、とても興味ある「寺子屋日々喜」についての紹介記事をお願いしました。

次号では10月に開催予定の「医薬品関連業界交流会」の記事も予定しております。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
- ・年会費のお振込みは、早めにお問い合わせいたします。

令和6年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二二三

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

E-mail info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇一四九九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

E-mail tsujimu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社



Restaurant&Cafe

ランチ・カフェ・ディナー

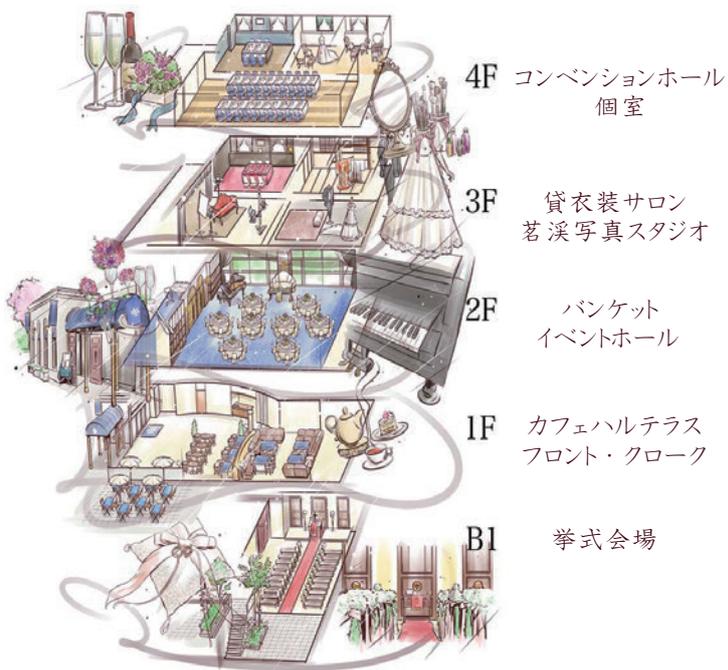
“嘉ノ雅” 茗溪館
KANOBi MEIKEIKAN
Wedding
結婚式・結納・フォト

Party&Meeting

宴会・同窓会・会議



嘉ノ雅 茗溪館 館内 MAP



茗溪会会員・筑波大学生・卒業生の皆様だけに贈る

ご優待特典

ご婚礼 特典あり ※詳しくはスタッフまでお尋ねください

お食事 ご飲食合計（税サ別）より10%OFF

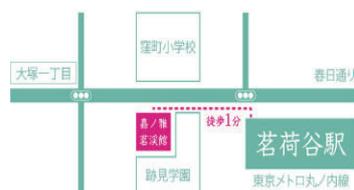
お食事会・ご宴会・会議のご予約も承ります

大ホール（2F 茗溪） 最大120名様
小・中ホール（4F 筑波・新泉） 28名～72名様
個室（あけぼの・占春） 6名様～18名様

ご利用料金は、人数・利用部屋によって異なります。
音響設備・スクリーンの使用など、別途料金（¥10,000～）が発生いたします。
ご利用の場合は、ご予約・お支払時に在学証明書・名刺・茗溪会員証などの掲示をお願い致します。

※全て着席時の人数記載となります **お気軽にお問い合わせくださいませ**

池袋駅から約5分・東京駅から約10分。
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩約1分。



“嘉ノ雅” 茗溪館

KANOBi

MEIKEIKAN

TEL: 03-5319-1890

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23
HP: <http://www.kanobi-meikeikan.com/>

問い合わせメールアドレス: info@kanobi-meikeikan.com
営業時間: 11:00～20:00 定休日: 不定休 ※要問合せ

▼HP▼ ▼LINE友達募集中▼



ID: @enc2843s

結婚の価値を、 見過ごしていませんか。

結婚後、思考が変わった、
成長を感じた、責任感が生まれた。

誰でも公平に得られる人生の転換機会を、
あえてパスするのは勿体ない。

30分、お時間をください。
ご一読いただきたい声があります。

いる訳がない、親に勧められて渋々、
なんとなく抵抗がある。
かつて、そんな気持ちだった
キューピッドOB会員が語る結婚の魅力。
人生を前に進めた方達の真実の声。

少しでも気持ちが動いたら、お問い合わせください。
一緒にあなたの出会いをつくる
唯一無二の会員制クラブ、キューピッドへ。



● 筑波大ご出身の皆さまへ ●
ご入会の際、キューピッド推薦のスタジオ写真撮影料金(3万円相当)を特典サービスいたします。

キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年設立。

■ 資料のご請求は

☎ 0120-0333-82



■ 入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

● 男性 25~45歳、定職におつきの方。

● 女性 20~40歳 ※入会に際して審査があります。

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1

新青山ビル東館10F 電話 03-5843-1581

公式ホームページ www.cupid.co.jp

キューピッドの
結婚

キューピッドクラブ

検索

結婚カップルメッセージは4,500通に到達。年間200通を超える
真実の言葉が積み重なった金字塔です。



結婚に安心して向き合えるフィールド

Cupid Club

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金 (税サ込)

シングルB (バス・トイレ別) ¥ 5,000~¥10,800
 シングルA (バス・トイレ付) ¥ 7,000~¥13,500
 ツイン (バス・トイレ付) ¥10,500~¥18,000
 朝食バイキング ¥ 1,200→¥ 880
 大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00

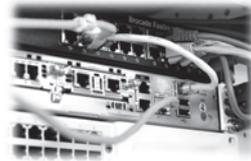


東京都新宿区新宿6-3-2
 TEL 03 (3356) 4605
 FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
 都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
 地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口
 } より徒歩7分
 JR新宿駅より車5分



「安心」「安全」「快適」な
 ITインフラ環境を最先端の技術で実現



- ・社内ネットワーク
- ・院内ネットワーク
- ・無線 LAN, Wi-Fi
- ・テレワーク, Web 会議
- ・セキュリティ



FAAM



ESMO



No Man



Do RAY

豊富な実績、高い技術力で、皆様に最適な
 ITソリューションをご提供いたします。

株式会社FYF

会社 HP <https://www.fyf-h.com>
 x (旧 Twitter) @FYF_INC

~ ITソリューションでより良い未来を ~

本社 〒277-0843 千葉県柏市明原 1-1-6
 TEL 04-7192-8927 FAX 04-7192-8929
 関西支店 〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町 1-5 扇町公園ビル 6F
 TEL 06-4306-4019 FAX 06-4306-4023
 九州支店 〒812-0029 福岡県福岡市古門戸町 2-4 KS コモンドビル 5F
 TEL 092-406-4443 FAX 092-406-4453
 東北支店 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 1-6-18 東北王子不動産ビル 5F
 TEL 022-226-7290 FAX 022-226-7291
 北海道支店 〒060-0062 北海道札幌市中央区南二条西 1 丁目 1-2
 21 きのしたビル 9F
 TEL 011-206-7482 FAX 011-206-7483



【会社 HP】

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚 1 丁目 5 番 23 号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚 1 丁目 5 番 23 号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆ 寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆ 国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です
- ◆ 多くの海外姉妹校があり、交流が盛んな学校です
- ◆ 文部科学省 SSH（3期目）認定校です

2025 年度茗溪学園入試日程

中学校：11月16日(土)国際生特別選抜A,B方式
12月21日(土)推薦(専願)入試、国際生B方式
1月12日(日)一般4教科入試、国際生A,B方式
1月25日(土)一般総合入試
高校：11月16日(土)国際生特別選抜A,B方式、
IB入試

1月9日(木)推薦(専願)入試

1月25日(土)一般入試、IB入試

詳細は本学園ホームページでご確認ください。
お問い合わせは、下記のe-mailをご利用ください。



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)